

星のたより

2023(令和5)年
11月号
Vol. 350

☆今月の豆知識☆
 ⑤ せん状星雲って知ってる？ 秋の星座・みずがめ座のあたりにあるんだよ。見かけの大きさが月くらいある大きな星雲なんだけど、暗いから望遠鏡でも見るのは難しいんだって。さじアストロパークの2階に大きな写真を展示しているから、「らせん」に見えるかどうか確かめてみてね。



フラネタリウムクイズに挑戦!

～さじアストロパークで公認企画開催～

2023年はドイツ博物館で近代的な光学式プラネタリウムが公開されてから100周年。国内のみならず世界中のプラネタリウム関連施設で100周年イベントがおこなわれています。さじアストロパークでおこなっている「プラネタリウム100周年記念展示」に合わせて、「プラネタリウムクイズ」を実施中です。「ヒントなし」の難解クイズですが、展示やプラネタリウムを楽しんだ後、クイズにチャレンジしてみましょう。



プラネタリウム
100周年

プラネタリウム100周年関連の情報は、「日本プラネタリウム協議会(JPA)」の公式HP「<https://100.planetarium.jp/>」をご覧ください。

やってみよう! で一week

～体験的学習活動等休業日はさじアストロパークで～

鳥取市では11月2日(木)～5日(日)を、「やってみよう! で一week(体験的学習活動等休業日)」としています。これは、3連休に学校休業日を追加して4連休とし、普段できない体験をおこなえるようにしたものです。さじアストロパークでは、プラネタリウム投影や103cm大型望遠鏡による天体観望会に加えて、この休業日に合わせて「ミニプラネタリウム工作とプラネタリウム見学」をおこないます。



日時: 11月3日(金・祝) 13:00～15:45

入館料: 一般(高校生以上) 600円、小中学生200円、幼児無料

定員: 5組(20人程度) 事前に予約が必要です

イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。公式ホームページで最新情報をご確認ください

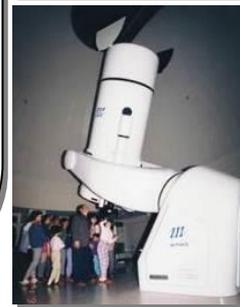
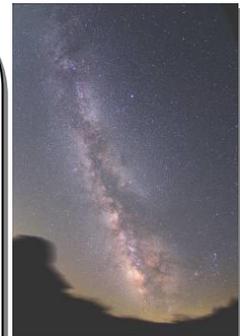
☆期間展示☆ 「プラネタリウム100周年記念展示」9月21日(木)～12月3日(日)
 プラネタリウム100周年記念事業公認企画。プラネタリウム装置の発明から現在に至るまで、展示を通じてその変遷をたどります。

☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
 第2部 テーマ番組「星空の水平線」 9月21日(木)～12月17日(日)

☆夜間観望会☆ ☆11月のテーマとおすすめ情報

アンドロメダ銀河、土星、木星	4(土)	
ペガサス座の星の集まり M15 土星、木星	11(土)	
天王星、海王星、土星、木星	18(土)	
月、土星	25(土)	
観望会で満天の星が楽しめる	1(水)～5(日)、8(水)～12(日)、15(水)～17(金)	
観望会で月がよく見える	19(日)、22(水)、23(木)、25(土)、26(日)	

☆11月の休館日 6(月)、7(火)、13(月)、14(火)、20(月)、21(火)、24(金)、27(月)、28(火)



※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で昼も夜も星空満喫～

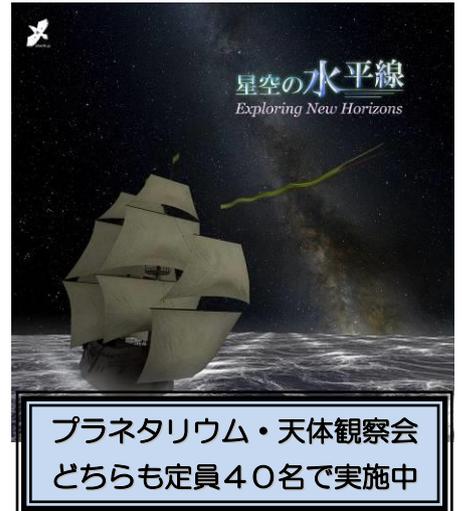
1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員によるライブトーク、後半は、テーマ番組を投影しています。前半のライブトークでは、当日夜に見える星空や季節の星座などを紹介しています。

秋のテーマ番組「星空の水平線」

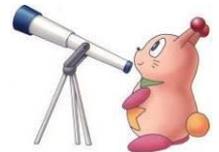
プラネタリウムの後半のテーマ番組は、新しい視野を広げる冒険の船旅「星空の水平線」を投影しています。

投影期間：9月21日(木)～12月17日(日)



2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」で、見ごろの天体を観察しています。月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。平日及び日曜日のご利用については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約の上ご利用ください。

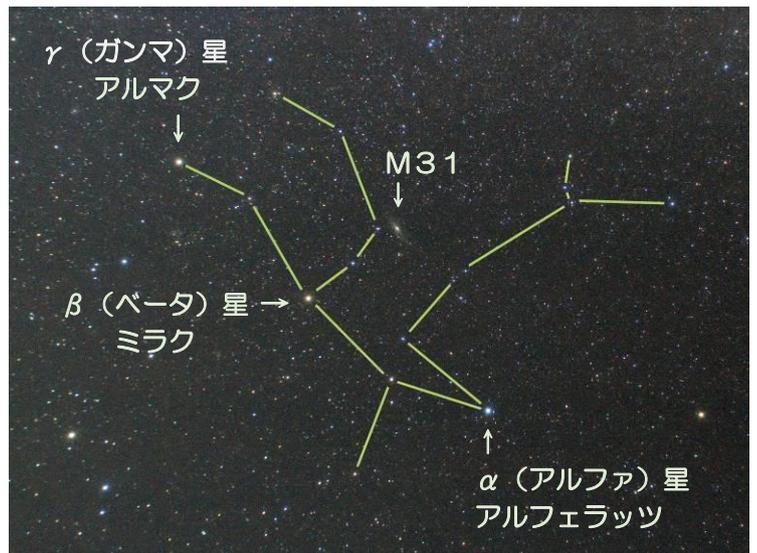


11月の注目天体情報

☆アンドロメダ座

アンドロメダの頭の α (アルファ)星アルフェラッツは、秋の四辺形の一つで2.1等星と比較的明るく探しやすい星です。 β (ベータ)星ミラクと γ (ガンマ)星アルマクも2等星なので、この3つの星を手掛かりにして星々をつないでみてください。

アンドロメダは、古代エチオピア王家に登場する美しいお姫様の星座です。父の王ケフェウス、母の王妃カシオペヤ、さらに古代エチオピアの国に被害をもたらしたアンドロメダにおそいかかったクジラや、その危機を救って夫となるペルセウスも秋の夜空で星座となっています。

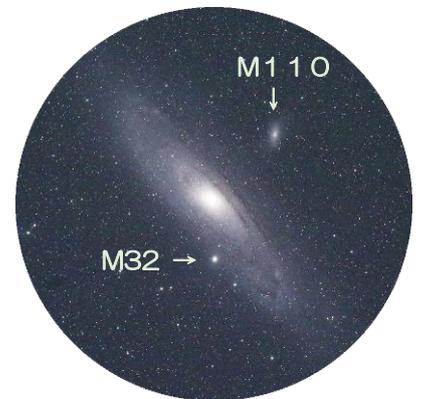


☆アンドロメダ座の天体

銀河 M31 (アンドロメダ銀河)

1兆個ほどの恒星が集まった星の大集団です。我々の銀河系と同じ渦巻銀河に分類されています。肉眼でアンドロメダ座を見ていると、ぼんやりとした小さな雲のように見ることができます。望遠鏡や写真では近くにM32とM110の2つの伴銀河を伴っているのがわかります。

距離 250万光年 等級 4.4等
見かけの大きさ 180分角×63分角



二重星 γ (ガンマ)星「アルマク」

アンドロメダの足元で輝く γ (ガンマ)星「アルマク」は、望遠鏡で観察すると黄色い星と青白い星が寄り添う美しい二重星として見ることができます。

距離 393光年 実視等級 2.2等

巨大4惑星が見ごろ

今、巨大4惑星(木星、土星、天王星、海王星)が見ごろとなっています。特に天王星、海王星はなかなか見る機会がないとおもいますので、この機会に是非一度見てください。

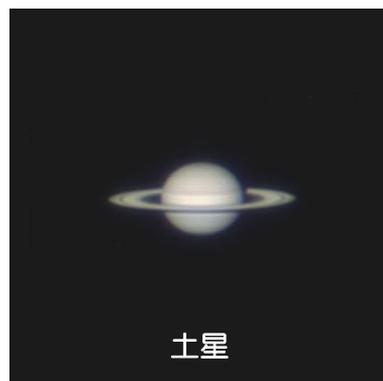
木星



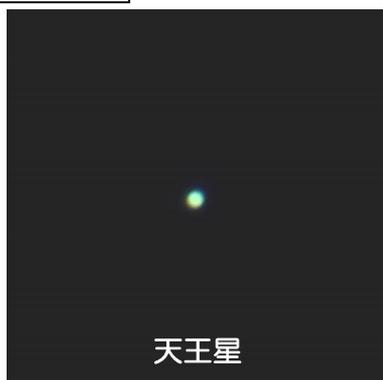
木星は私たち太陽系の中で一番大きな惑星です。直径は地球の約11倍あります。特徴は2本の縞模様です。また、オレンジ色の丸い「大赤斑」があります。ここでは激しい嵐が起っています。最近はだんだん小さくなっているようで、以前は地球が2~3個入っていましたが、今は1個しか入らなくなっているようです。望遠鏡では4つの衛星も見ることができます。この衛星はガリレオが発見したことから「ガリレオ衛星」とも呼ばれています。見る日にちや時間によって衛星の位置や数が変わります。小型望遠鏡で見ることができますので、持っている方は是非見てみてください。

土星

土星は太陽系の中で2番目に大きな惑星です。地球の約9倍です。特徴は環です。環は氷のつぶでできています。最新の観測では、環ができたのは今から約1億年位前、しかもいずれは消えてなくなってしまう、といわれています。また、環の傾きが小さくなって、2025年には環がほとんどみえない状態になってしまいます。環の傾きにも注目してください。上空の空気の揺らぎなどに左右されてしまいますが、条件が良ければ環の中に見える大きなすきま「カッシーニの間隙」や「土星本体の縞模様」「土星の衛星」などを観察することができます。



天王星



天王星の存在が明らかになったのは望遠鏡が天体観測に使われるようになってからで、1781年にイギリスの天文学者ウィリアム・ハーシェルによって発見されました。空の暗い場所なら双眼鏡でも見つけることができます。1986年のボイジャー2号による観測によって、太陽系の惑星の中では唯一、横倒しになったような状態で自転している惑星であることがわかっています。大きな天体が衝突したのが原因ではないかといわれています。

海王星

現在、「太陽からもっとも遠い惑星」となっている海王星は、天王星の観測データから天王星の外側に未知の惑星があると考えた天文学者たちによって1846年に発見されました。その発見のわずか17日後には、第1衛星のトリトンも発見されています。その衛星トリトンは、海王星の自転の向きとは反対方向に公転しています。ちなみに、海王星を訪れたことのある探査機は「ボイジャー2号」だけです。

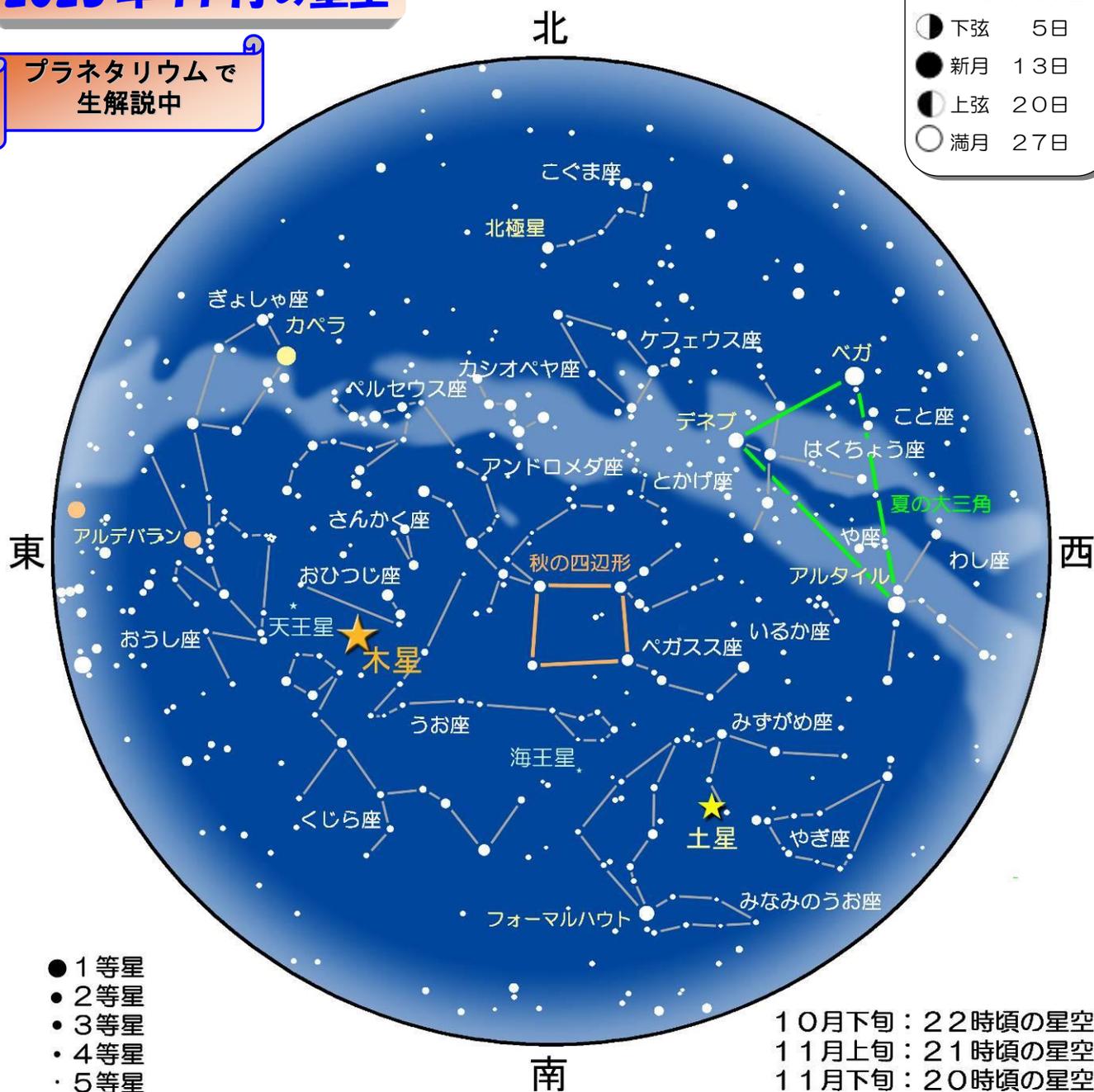


2023年11月の星空

11月の月の暦

- ☾ 下弦 5日
- 新月 13日
- ☽ 上弦 20日
- ☾ 満月 27日

プラネタリウムで
生解説中



☆11月になると「冬が近い」という気候になりますね。山陰地方は寒さに加え晴天率も悪くなってきますが、夜の時間は長くなりますので、寒さに負けず星空を楽しみましょう。

☆目で見られる惑星は2つ。東の空少し南よりのとびきり明るい星が「木星」、南の空少し西よりの明るい星が「土星」です。星空を見渡しても木星が一番明るく輝いているので、わかりやすいでしょう。肉眼では見えませんが、天王星と海王星もちょうど観察できる場所にあります。

☆星座の星たちは、夏～秋～冬と楽しめます。西の空には「夏の三大角」、頭の真上には「秋の四辺形」、そして東の空には冬の星座「おうし座」が見えています。おうし座のあとから「オリオン座」が昇ってきます。夜遅くまで起きていると「冬の三大角」も見えてきて、星空からも冬の訪れを感じますね。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観察会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp